



全体会

次期開催県挨拶

水 島 徹 (三重県地域連携部南部地域活性化局次長)





次期開催県挨拶

三重県地域連携部南部地域活性化局次長

みずしま とおる
水島 徹

皆様、こんにちは。ご紹介いただきました三重県地域連携部の水島でございます。皆様、お気持ちは既に懇親会のほうへ行かれていますと思うんですけども、もう少しだけおつき合いをいただければと思います。

本日は養父先生の基調講演とか、今まで続きました宮口先生コーディネートのパネルディスカッションとか、大変貴重なお話をたくさん聞かせていただきまして、勉強させていただきました。シンポジウムの開催に当たりまして、総務省、それから長崎県をはじめ関係者の皆様には大変なご苦労があったことかと思えます。どうもありがとうございます。来年、三重県でこのような立派なシンポジウムができるのか、ちょっと不安になってまいりましたけれども、精いっぱい頑張らせていただきたいと思います。

三重県は南北に非常に長い県でございまして、北部のほうは中京圏、商工業の盛んな地域でございまして、紀伊半島の東側に当たります南部地域というのは、若者の人口流出、高齢化という非常に厳しい地域でございまして、9つの市町が過疎地域の指定を受けております。また、三島由紀夫先生の『潮騒』の舞台としてご存じかと思えますが、神島をはじめとします6つの島が離島地域の指定も受けられて、まさに「過疎・離島・半島っていいね!」という地域でございまして。

三重県というと、皆様、今何を頭に思い浮かべていらっしゃるのでしょうか。今年は、日本人の心のふるさとと言われております伊勢神宮の式年遷宮、20年に一度の行事が行われてございまして、全国から1,000万人を超えるようなお客様にお越しいただいております。伊勢市の周辺は大変なにぎわいになってございまして、来年はおかげ年と申しまして、お社が新しくなりますので、またそちらのほうへ初めてお参りにお越しいただく方がたくさん見えるというこ

とでございます。

もうひとつ、来年は大きな行事がございまして、世界遺産に登録をされております「紀伊山地の霊場と参詣道」という、これは和歌山県さん、奈良県さん、三重県、紀伊半島全体の地域を対象とする世界遺産でございまして、世界でも珍しい道の世界遺産でございまして、こちらが来年、登録されてちょうど10周年を迎えますので、地域の方々といろいろな行事で盛り上げていきたいと思っております。

三重県は、熊野古道伊勢路と申しまして、伊勢参宮にお越しになった方がさらに聖地熊野を目指すということで残された道でございまして、今も苔むす石畳の道などが残っておりまして、往時の面影をしのんでいただける、そういったロケーションになってございまして、来年は三重県のほうへ多くの皆様にお越しいただきまして、伊勢神宮とか熊野古道、こういったものも存分に体感をしていただければと思っております。

また、三重県は古来、御食つ国(みけつくに)と呼ばれてございまして、伊勢エビですとかアワビ、それから松阪牛とか赤福とか、非常に豊富な山海の幸にも恵まれてございまして、こういったものも存分に堪能していただければ、このように思っている次第でございまして。

本日は、三重県ふるさと振興協議会の会長を務めていただいております大台町長の尾上町長さんにも会場に来ていただいておりますけれども、会長とともども、来年は三重県で皆様方を心からおもてなしさせていただきますと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

来年、三重県でお会いしましょう。お待ちしております。

どうもありがとうございました。